

## 事後評価結果(平成27年度)

担当課：道路整備課  
担当課長名：久保 義人

<b>事業名</b>	主要地方道 丸亀三好線 昼間～内野工区	<b>事業区分</b>	主要地方道	<b>事業主体</b>	徳島県			
<b>起終点</b>	自：三好郡東みよし町字昼間	至：三好郡東みよし町字内野	<b>延長</b>	0.74km				
<b>事業概要</b> -----								
<p>丸亀三好線は、香川県丸亀市の国道11号を起点とし、東みよし町で鳴門池田線に接続する延長約44.4kmの主要地方道である。</p> <p>当路線は、徳島県と香川県にまたがる広域的な道路であり、また、地域の生活を支える生活道路としても重要な役割を担っているが、急峻な山間部に位置しているため、幅員狭小、線形粗悪であり、車両の通行に支障が生じていることから、これらを解消するため、さらに、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏整備計画」の主要資源に位置づけられている「ホタルの里」増川谷や、廃校になった小学校跡地を利用し、手軽に田舎体験ができる「いやしの里・増川笑楽耕」、四国で唯一の日本自動車連盟（JAF）公認サーキットである阿讃サーキット等への主要アクセス道路であるため、バイパス方式により2車線に整備するものである。</p>								
<b>事業の目的・必要性</b> -----								
<p>当区間は幅員が3～4mと狭小で、しかも屈曲し、見通しも悪いことから、諸車両の通行の支障となっており、また、落石危険箇所にも指定されている。これらを解消することにより、通勤などの生活道路として安心、安全な通行の確保や災害時の確実な住民避難とともに、「いやしの里・増川笑楽耕」をはじめとする観光地等へのアクセス向上などが図られる。</p>								
<b>事業概要図</b> -----								
<b>事業を巡る社会経済情勢等の変化</b> -----								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年 3月：三好町・三加茂町の2町が合併し、東みよし町が誕生。</li> <li>・平成20年10月：国土交通大臣による「にし阿波観光圏」の認定。</li> <li>・平成25年 4月：国土交通大臣による「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の認定。</li> </ul>								
<b>事業効果</b> -----								
<p>①すれ違い困難箇所が解消し、安全性と走行性が改善（1車線→2車線）。</p> <p>②落石危険箇所（3箇所）を回避し、安全性が改善。</p> <p>③地元住民等からの意見（近隣住民からのヒアリング結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しが良くなり、走りやすくなった。(60代・女性)・池田、香川方面への通行が楽になった。(60代・男性)</li> <li>・幅員が広くなり、安全に通行できるようになった。(60代・女性)</li> <li>・落石の心配もなく、快適に通れるようになった。(50代・男性)</li> </ul> <p>④観光施設へのアクセス向上（「いやしの里・増川笑楽耕」等）</p>								
<b>事業期間</b>	<b>事業化年度</b>	<b>H19年度</b>	<b>用地着手</b>	<b>H20年度</b>	<b>工事着手</b>	<b>H19年度</b>	<b>前回比</b>	-
	供用年	(前回評価時)	-	(今回)	H26			
<b>事業費</b>	前回評価時	-	億円	実績	12.3	億円	前回比	-
<b>交通量</b>	(前回評価時)	-	台/日	(今回)	511	台/日	前回比	-
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C	1.3	<b>総費用</b>	13.8	<b>総便益</b>	17.3	<b>基準年</b>	平成27年
					走行時間短縮便益：16.2億円 走行経費減少便益：1.0億円 交通事故減少便益：0.1億円			
<b>課題と今後の事業への反映</b>	<p>当工区では、事前に県、市と連携して地元との調整を行ったことから、用地買収、工事施工など、円滑に進捗した。今後も関係機関及び地元住民と一体となった事業展開を図り、円滑な事業進捗に努める。</p>							

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。